

オアシスロード開設 50 周年記念事業

香櫨園コミュニティ協議会

事業費 221,636 円

助成額 100,000 円

●当初の課題・事業目的

地域の大きな財産である夙川オアシスロードが開設されて、2020年9月で50周年を迎えます。50年前、高度成長期の真っただ中にあった昭和46年にオアシスロードがスタートしました。当時の夙川東岸道路は、1日4千台もの車が通り、危険性と排気ガスが大きな社会問題になっていました。住民と行政により道路から車を閉め出し左岸道路が「緑の遊歩道」として解放され、「夙川オアシスロード」と命名されました。この全国的にも例のない取組みは、今日、喧伝されるSDGs（持続可能な開発）を先取りしたものです。50周年を迎えることを機に、大きな恩恵を受けている「夙川オアシスロード」の価値を見つめ直し、将来にわたってこの豊かな景観、社会環境を守っていかうとするものです。



代表 平野 茂

●事業概要

- ① 10月16日 香櫨園市民センターに於いて石井市長を迎え、50周年記念事業開催祝典と同時に、山下忠男氏（元西宮文化協会会長）、小西巧治氏（西宮・芦屋研究所）、足立年樹氏（元西宮東高校校長）の三人の講師によるオアシスロードが開設されるまでの状況などや生い立ちについてパネルディスカッションを行う。
聴講者：63人
- ② 同日 小西氏の案内で夙川オアシスロード橋めぐりウォーキングを実施し、夙川に纏わる文豪たちの話やオアシスロードの維持管理は地域住民のボランティア活動に支えられていること、地域住民が日頃受けている恩恵を知る。参加聴講者：84人
- ③ 11月2日～7日 市民ギャラリーにてオアシスロード・香櫨園地域の昔の様子などの判る今昔資料展・子どもの作品展を開催。来場者：476人
- ④ 11月6日 人間に一番近い動物といわれている犬の関西初のわんわんパレードを2号線から酒蔵通まで実施。
参加：49組
- ⑤ 12月2日 地域懇談会実施、地域の各自治会長、各種団体役員17人の参加により、50周年記念の各事業を総括し、今後恒例事業とする。



●事業の成果・工夫した点

当初、香櫨園コミュニティ協議会単独で開催する予定でしたが、皆さんにお知らせしたところ、地域全体で取り組むことになりました。お陰で香櫨園地域全体により一層強い絆ができました。今まで「夙川オアシスロード」の価値に気がつかず、いつも何気なく、通勤・通学・散歩に使っておりましたが、改めて地域住民が「夙川オアシスロード」の大きな価値に気づきました。

●苦勞した点・今後の課題

規模が大きくなり、開催期間が3ヶ月の長い期間になりました。市関係者でも「夙川オアシスロード」の名称を知らない人がいました。中央図書館にも「夙川オアシスロード」に関する書物がないので、今後、その冊子をつくります。上流域の夙川公園域も合同で、「夙川オアシスロード・夙川公園」月間を開催して、地域の大きな行事にしていきたいです。

●参加者のコメント

- ・「阪神間ナンバー1住みたい街」というステータスを得たのは、偶然でなすがままにできたことではないことが、深く印象に残った。今後も継続開催して下さい。
- ・時代背景とともに、オアシスロードの歴史を振り返ることができて楽しかった。ますますオアシスロードが好きになった。西宮市民として誇りに思えた。
- ・地域住民の努力と文化的風土がなければ、夙川の都会の自然、緑の景観は守られなかったのではないかと。
- ・地域住民の努力でオアシスロードの美観を保っている。個人として年間500円の会費を払い清掃活動をしている人もいます！
- ・橋めぐり、パネルディスカッション、今昔写真展、わんわんパレードなど企画がとてもよかった。